

令和2年度 前期 学校自己評価のお知らせ

保護者の皆様へ

これは、前期に行った「学校自己評価」の結果です。学校自己評価とは、教職員自身が、学校教育目標の達成状況や教育活動の実施状況を評価するものです。その際、評価の客観性を増すために、「児童アンケート」や「保護者アンケート」の結果も参考にします。「教職員の自己評価」と「児童アンケート」、そして、「保護者アンケート」の結果と考察を掲載しています。これらの評価の結果を踏まえて、学校改善に向けた後期の教育活動を進めていきます。

お時間がある時によくお読みいただき、本校の教育活動に対して御理解いただきますと共に、今後も御協力を賜りますようお願いいたします。

糸島市立東風小学校
校長 石硯 昭雄



糸島市立東風小学校

児童・教師評価の結果と考察(前期)

【評価方法】 4段階	〔4：よくできている 4；80%以上	3：ほぼできている 3；60～79%	2：やや不十分 2；40～59%	1：できていない 1；39%以下)
------------	-----------------------	-----------------------	---------------------	----------------------

重点目標における子どもの姿の評価の概要

【本年度の重点目標】

学びの中で自分のよさを発揮し、仲間とともに育つ子どもの育成

- 基礎的・基本的な学習内容を身につけた子ども
- 自分で考え、友にかかわり、学びの中で自信を深める子ども
- 学習の構えや習慣を身につけた子ども

重点目標における子どもの姿

【学校満足度】

質 問 項 目	児 童
1 学校生活を楽しく過ごしている。	3. 6 3

【ぐんぐん育つ】意欲を持って学び、自分で考える子ども

質 問 項 目	児 童	教 師
2 学習する構えができている(学習準備と姿勢等)。	3. 2 1	2. 8 7
3 話している人の方を向いて、目と心で聞いている。	3. 3 9	2. 5 8
4 じっくり考えて、自分の考えを書くことができる。	3. 4 8	2. 7 7
5 自分から進んで考えたことを発表・交流している。	3. 0 8	2. 6 8
6 宿題を毎日決められた時間きちんとしている。	3. 3 6	3. 1 4
この観点の平均		2. 8 1

【にこにこ育つ】正しいこと、優しいことを進んでできる子ども

質 問 項 目	児 童	教 師
7 誰にでも自分から進んで大きな声で、あいさつをしている。	3. 0 5	2. 3 5
8 やさしい言葉で友だちに話している。(チクチク言葉づかでない)	3. 5 7	3. 0 0
9 東風小のきまりを守ることができている。	3. 6 5	2. 9 3
10困っている友達や下級生にやさしくすることができる。	3. 5 6	3. 2 7
11自分のことが好きである(自分のことをよく思っている)。	3. 1 6	2. 9 0
この観点の平均		2. 8 9

【すくすく育つ】健康・安全に気をつけ、体を鍛え、やりぬく子ども

質 問 項 目	児 童	教 師
12友だちとさそいあって、外で元気に遊んでいる。	3. 4 4	3. 1 9
13自分の係や当番の仕事を最後までがんばっている。	3. 7 2	3. 2 7
14進んで、もくもくと時間一杯そうじをしている。	3. 4 6	3. 0 6
15自分の物は、自分できちんと管理している(靴・傘・机の中・棚等)。	3. 5 3	2. 7 1
16規則正しい生活ができている(早寝・早起き・朝ご飯)。	3. 3 6	2. 8 0
この観点の平均		3. 0 1

重点目標における子どもの姿の評価の考察

〈全体考察〉

- ・ 新型コロナウイルス感染症防止のために長い休校期間がありました。6月から学校が再開し、いろいろな制限や制約のもと、子どもたちは本当によくがんばりました。そして、友達や先生と過ごす学校生活を楽しみ、充実したものにしてくれたと感心しています。
- ・ どの評価項目においても、子どもの自己評価は高く、教師の評価は低いという結果になりました。このことから、子どもは、どの項目においても努力をし、自分なりに高まりを感じていると考えます。一方、教師は、「もっと高めたい。」という意識があり、低い評価になっていると考えます。

〈「学校満足度」の考察〉

- ・ 「学校生活を楽しく過ごしている。」の質問項目は、最も高い数値を示しています。とても素晴らしいことだと思います。アンケートの中で最も大切な質問項目であると考えています。この結果から、子どもたちが学校を好きと感じ、楽しく生活していることがわかります。しかし、マイナス評価を付けている子どももいますので、個別に支援していくようにします。

〈「ぐんぐん育つ」の考察〉

- ・ 問3の「聞くこと」については、低い数値でした。学校再開時に話し手の方を向かずに聞くように指導していたことが原因だと考えられます。今後もどんな場面においてもしっかりと人の話を聞くことができるように指導します。
- ・ 問5の「話すこと」については、低い数値でした。感染症防止のために積極的に「発表・交流」のある授業づくりを行えなかったからだと考えます。自分の考えを「書く」活動を重視します。
- ・ 問6の「宿題」は、高い数値を示しています。毎日の宿題を子どもたちが努力していることがよくわかります。家庭学習の習慣化は身についていますので、今後は、家庭学習の内容を吟味し、質の向上を図りたいと考えています。

〈「にこにこ育つ」の考察〉

- ・ 問7の「あいさつ」については、低い数値でした。如何なる時もマスクを着用していたことにより、あいさつが聞こえなかったり、言えなかったりしたのだと思います。大きな声を出さずとも、丁寧に会釈をする子どももいます。相手を大切にする振る舞い方を学んで欲しいです。
- ・ 問9の「きまりを守る」については、高い数値でした。新しい行動様式を子どもたちは受け入れ、しっかりと守ろうと努力していました。職員みんなでいつもとても感心していました。今後も一人一人が基本的な感染対策を身につけるように指導します。
- ・ 感染症防止のために児童会活動での縦割り活動や6年生と1年生との関わりペア活動ができませんでした。しかし、問10の「思いやり・親切」については、高い数値になっています。子どもたちの心の成長を感じます。

〈「すくすく育つ」の考察〉

- ・ 問12の「外遊び」については、低い数値でした。三密を避けるために学年ごとに外で遊べる日を割り振ったため、子どもたちは外で思う存分遊ぶことができませんでした。しかし、子どもたちは室内での遊びを創意工夫し、休み時間を楽しんでいました。
- ・ 問13の「係当番の仕事」の項目は、高い数値でした。子どもたちは、自分の仕事はしっかりとやっていると感じています。立派です。
- ・ 問15の「物の管理」については、低い数値でした。落とし物がとても多い状況です。自分の物を大切に管理できるように指導します。
- ・ 問16の「規則正しい生活」については、低い数値でした。子どもたちが学校生活を充実させるためには、早寝・早起き・朝ご飯の基本的な生活習慣が必要です。御協力、お願いします。

保護者評価(アンケート)の結果について

1 実施期間 令和2年7月17日(金)から7月27日(月)

2 配付数 596

3 回答数 558 (回収率93.6%)

 : 4 評価  : 3 評価  : 2 評価  : 1 評価

項 目	お子様の姿・学校の姿		評 価	
I 学校満足度	1	お子様は、学校生活を楽しんでいますか。	3.59	
II 家庭での様子から、めざす子ども像の達成度	2	お子様は、ご家庭で自分から進んで学習していますか。	3.14	
	3	お子様は、相手の気持ちを考えながら、友だちと仲良く遊んでいますか。	3.42	
	4	お子様は、地域や家庭で、気持ちのよい挨拶ができていますか。	3.07	
	5	お子様は、基本的な生活習慣(早寝・早起き・朝ご飯等)が身についていますか。	3.37	
	6	お子様は、家の仕事や学習を、最後まであきらめずにやり通すことができていますか。	3.22	

I 学校満足度

長い休校期間を経て、子どもたちが学校に戻り、学校生活を楽しく送っていることにうれしく思います。今後も誰もが安全に楽しく学校生活を送れるように努力します。

II めざす子ども像の達成度

どの項目もある程度は高い数値であると考えます。これは、前期の様々な取組を通して、子どもたちが目標に向かって努力してきた成果だと考えます。しかし、「問2：学ぶ意欲」「問4：挨拶」に関しては、マイナス評価も見られます。御家庭との連携・協力を大切にして、さらに高めていきたいと考えています。

: 4 評価
 : 3 評価
 : 2 評価
 : 1 評価

Ⅲ学校の教育活動の充実度	7	学校は、「わかる・できる・楽しい」授業づくりに取り組んでいますか。	3. 4 6	275 255 19
	8	学校は、生命尊重や思いやりの心等、豊かな心づくりに努めていますか。	3. 5 3	313 222 14
	9	学校は、いじめのない安心した学校・学級づくりができていますか。	3. 4 9	301 225 20
	10	学校は、体育や食に関する指導を通して、健康づくりに取り組んでいますか。	3. 5 8	326 222 3
	11	学校は、掃除指導や校内の環境づくりに努めていますか。	3. 5 0	304 221 23
	12	学校は、学級通信等で、学校や子どもたちの様子を積極的に伝えていますか。	3. 6 0	347 187 15
	13	学校は、家庭や地域と協働して子どもを育てていますか。(コミュニティ・スクール)	3. 5 0	290 228 23
	14	学校行事(運動会等)は、子どもにとって充実した取組になっていますか。	評価 できない	
	15	学校は、新型コロナウイルス感染症防止のための取組は充実していますか。	3. 6 6	374 155 14

Ⅲ 学校の教育活動の充実度

この質問項目では、私たち教職員がどのように教育活動を進めているのかについて聞かせて頂きました。全体的に見て、高く評価して頂いていることに感謝します。保護者の皆様の御理解があることが、私たちにとっては、とても心強く感じるものです。今後も、子どもたちの確かな学力や豊かな心、たくましい身体を育むことができるように努力すると共に、学校での様子が皆様によく伝わるように工夫していきたいと考えています。

後期には、問15「感染症対策」を徹底し、さらに充実した「学習活動づくり・人間関係づくり・環境づくり」をしていきます。

今後も引き続き、子ども一人一人のよさやがんばりに目を向けた教育活動を心掛けて取り組んでいきます。どうぞ御理解と御協力の程、よろしくお願いします。

保護者アンケート自由記述について

アンケートでは、自由記述欄を設けました。そこには、たくさんの貴重な御意見や御感想を頂きました。紙面の都合上、すべては紹介できませんが、職員でしっかりと確認し合った内容を報告させていただきます。

成果

お子様が学校生活を楽しく感じていることを伝えて頂いたり、私共教師のがんばりを認めて頂いたりした御感想をもらい、大変うれしく思います。

○ 子どもが元気に楽しく登校していることや、安心・安全の学級づくりに対する感謝

- ・日頃より安心した学級づくりをして頂いていると感じております。
- ・子どもたちに気を配って頂いているのがよくわかります。のびのびと個性を育てて、集団生活はきちんとできるように指導されていて、学校に行くのがすごく楽しい様子です。

○ 何かあったときの学校の対応への安心感と感謝

- ・大雨や不審者等に対するメール配信
- ・雨の日の立哨や交通整備
- ・いじめアンケートへの対応
- ・体調悪いときやけが等の連絡
- ・友達関係等で問題があるとすぐに連絡

○ 新型コロナウイルス感染症防止のための取組への感謝

- ・教師による毎日の消毒作業
- ・休校期間中の校長メッセージや校長メール
- ・教師の表情が見えるフェイスシールド
- ・授業内容と方法の工夫

課題

● 学校のトイレ環境について

- ・学校のトイレに鳥の糞が落ちている。
- ・学校のトイレに虫がいる。
- ・学校のトイレに行きたがらない。

→ 学校のトイレに関しては、昨年度、全職員でトイレの洗浄作業を行ったり、トイレの外壁に防鳥ネットを設置したり、改善を図ってきました。また、学校だより146号でお知らせしましたように3年間に7度の改修要望を教育委員会に対して行ってきました。本年度から3年間をかけて改修工事を行って頂けることが決定しました。早速、低学年校舎の工事が終わりました。今後も日常の清掃活動をさらに丁寧に行います。

● 学習参観や集会、行事や面談がないことについて

- ・新型コロナウイルス感染症防止のために学校に行く機会がないので様子が分らないです。
- ・学習参観や運動会等の行事がなくてさみしいです。

→ 9月までは新型コロナウイルス感染症防止のため、市内の全校で校舎内への保護者や地域の方の立入をお断りしています。10月以降、状況がよくなれば、分散形式での参観について考えていますが、今の段階では見通しが立ちません。今後できるかぎり、学級通信等で学校の様子をお伝えしていきます。

● ランドセルに入れる荷物が重いことについて

- ・子どものランドセルがとても重くてつらそうです。
- ・学校に家庭で使わない教科書やノートを置いてもいいようにしてほしいです。

→ 学校では現在も家庭で使わない物は置いて帰るように指導しています。ランドセルや荷物が重すぎて登下校の負担にならないように各学年ごとに荷物について指導を行うようにします。

Ⅳ 後期の教育活動の方針と方策

1 本年度の重点目標

学びの中で自分のよさを発揮し、仲間とともに育つ子供の育成（二年次）

- 基礎的・基本的な学習内容を身につけた子ども
- 自分で考え、友にかかわり、学びの中で自信を深める子ども
- 学習の構えや習慣を身につけた子ども

2 「ぐんぐん育つ」：子どもの育成に向けて

（１）基礎・基本の確実な定着を図ります。

- ・ 学び方・学ぶ姿勢について、めざす姿を子どもと教師で互いに共有します。
- ・ 朝タイムや宿題の内容や方法を見直し、基礎学力を高めるために工夫します。

（２）学力テストの結果分析を生かした授業改善を行います。

- ・ 全職員で学力テストの分析と考察を行い、子どもに付けるべき力を明らかにして、授業改善に努めます。
- ・ 学校全体や学年の学力向上プランの検証・改善に努め、協働して学力向上に努めます。

（３）校内研修を生かし、授業づくり（新”東風スタイルの学習）に努めます。

- ・ 子ども一人一人が自分で課題を選択し、問題解決的に追究していく学習を行います。
- ・ 子どもに身につけるべき資質能力を明らかにしながら、教員研修の充実を図ります。

3 「にこにこ育つ」：子どもの育成に向けて

（１）新型コロナウイルス感染症防止のための新しい行動様式を身につけた子どもを育てます。

- ・ 子ども一人一人が基本的な感染対策を身につけるように指導します。
（身体的距離の確保・マスクの着用・手洗いとうがいの徹底）

（２）規範意識と思いやりの心、生命尊重等を身につけた子どもを育てます。

- ・ すべての教育活動において自分も他者も大切にする人権教育の充実を図ります。
- ・ 「命の畑」における栽培活動の体験を通して、心の教育を行います。

（３）いじめを許さない学級づくりに努めます。

- ・ 担任一人に任せるのではなく、より多くの職員で子どもたちを見守ることができるように努め、職員間で、学級の状況や子どもの状況を把握し、よりよくするための意見交流を活発に行います。
- ・ 気になることがあればすぐに保護者の皆様に連絡し学校と家庭で連携して解決していきます。

4 「すくすく育つ」：子どもの育成に向けて

（１）「もくもくそうじ」ができる子どもを育てます。

- ・ 自ら進んで、だまって、最後まで掃除をすることを通して、自分たちの生活環境をきれいにしようとする意志、能力、態度を育てます。

（２）最後まであきらめずにやり抜く態度を育てます。

- ・ 何事にも進んでチャレンジし、最後まであきらめずにやり抜くことができるように、子どもたちを励まし、認め、褒めて伸ばしていきます。

（３）自分の命は自分で守ることができるように安全指導を行います。

- ・ 日常の交通指導を通して、安全に登下校できるようにします。
- ・ 事件や事故に遭うことがないように日常の安全指導を確実にを行います。

「本校教育活動に関するアンケート」に御協力頂き、ありがとうございました！